

# The 戦国

## ～戦国時代の豊橋～

◆ところ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

(アールスペース)

◆とき 平成25年 11月 16日 (土)

12時開場 13時開始 16時30分終了予定

◆定員 250人 (当日先着順)

◆入場無料



### 講演内容

戦国時代の豊橋  
～今橋城を巡る攻防～

講師 山田 邦明さん (愛知大学文学部教授)

戦国時代の普門寺と村々

講師 服部 光真さん (愛知県立大学大学院)



◆講師  
山田 邦明さん  
(愛知大学文学部教授)

とよはし  
文化財  
YEAR



# The 戦国

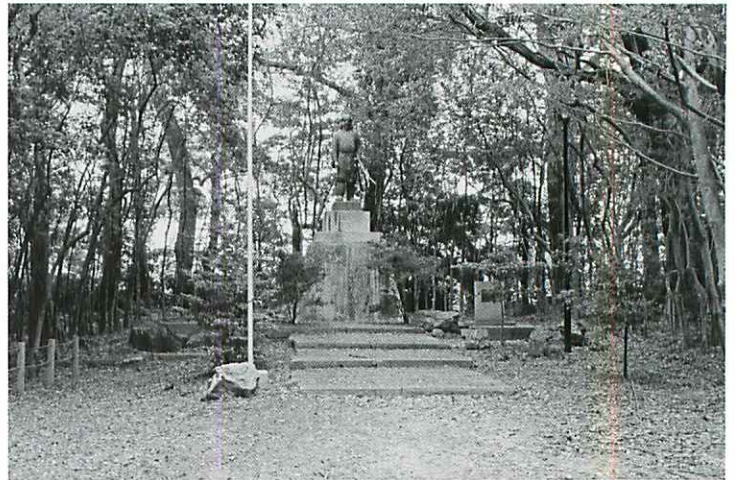
～戦国時代の豊橋～

## 主な舞台の紹介

### ○今橋城（吉田城）（今橋町ほか）

今橋城は、永正2年（1505年）に、牧野古白が今川氏親の命を受けて築城したとされています。今橋城は、金柑丸だけで構成された単式の郭であるとされてきましたが、近年の調査・研究によって、金柑丸以外にも郭をもつ構造であったことがわかってきました。以後、今橋城は吉田城と名を変えながら、東三河の要の城の一つであり続けました。

戦国時代の豊橋は、周囲を有力な戦国大名に囲まれており、絶えず、その脅威にさらされていました。そして、東三河の要である今橋城（吉田城）を巡って、攻防が繰り返されました。



現在の金柑丸

### ○普門寺（雲谷町）

行基による開山とされる古刹です。平成19年度からの5年間、豊橋市教育委員会による発掘調査が行われました。現在の普門寺は船形山の麓にありますが、それ以前の2つの本堂跡が船形山の中腹にあって、元々堂と元堂と呼ばれています。戦国時代の普門寺は、「桐岡院」と「船形寺」の2つに分かれていて、それぞれに多くの坊院が建ちならぶ、大きな寺院であったと想像されます。

普門寺がある船形山の尾根には、今川氏が築いた船形山城があり、尾根線から攻めてくる敵を待ち受ける役目を担っていたと考えられています。この船形山城における合戦に巻き込まれ、普門寺は全山消失の憂き目に会っています。全山消失した普門寺の寺領を安堵し、再興を促したのは今川義元でした。



普門寺の仁王門（普門寺HPより）